



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために
RI会長 シェカール・メータ

2021-2022年度



Rotary District 2640 Japan

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 魚谷 幸司 幹事 宇恵 久視 SAA 楠部 均

第 2098 回例会

2022年5月30日(月)

12:30～ 海南商工会議所 4F

会員卓話 社会奉仕委員長 奥 喜全 君

「地区クラブ社会奉仕委員長会議の報告」

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「四つのテスト」

3. 出席報告

会員総数 41名 出席者数 24名

出席義務規定適用免除会員 1名

出席率 61.54% 前回修正出席率 76.92%

4. 会長スピーチ

会長 魚谷 幸司 君

皆さん、こんにちは。本日は5月15日に開催されました、社会奉仕委員長会議の報告を社会奉仕委員長の奥さんより発表頂きます。後ほど宜しくお願い致します。



5月22日の家族例会に参加いただき皆様お疲れ様でした。天気にも恵まれ、非常に楽しい1日を送ることができました。まずは三宮にあるアトア(アクアリウムとアートを合体させた都市型の水族館)に行きましたが、親睦委員長の田中淳さんが予約を取って下さっていたので、スムーズに入場することができ、楽しい時間を過ごしました。

中華料理店ではおいしい料理と高価な紹興酒を頂き、満腹となり、続いて神戸ワイナリーに行きましたが、ここでも田中淳さんがきっちりと予約を取って頂いていたおかげで、ガイドさんの案内にてブドウの育て方やワインの醸造過程等を詳細に聞くことができ、試飲会でもおいしいワインを飲ませて頂きました。ここから帰途につきますが、ついでを申しますと、帰りのバスでは阪神勝利の瞬間を見ることができ、個人的には最高の1日を過ごすことができました。解散後、大江さんと田中淳さんとで楠山さんの店で打ち上げをして家に帰りましたが、飲み過ぎの影響で睡眠不足となり、翌朝は二日酔い状態でしたが、何とか1日踏ん張りました。

今回の旅行は先輩方の参加数が多く、様々な交流

ができ、うれしい限りでありました。ありがとうございました。

5. 幹事報告

幹事 宇恵 久視 君

○例会臨時休会のお知らせ

岩出 RC 6月2日(木)→ 6月2日(木)

職場訪問 大輝製作所(貴志川町)

和歌山西 RC 6月8日(水)15日(水) カフェ例会

6月29日(水)→ 6月30日(木)

18:00～ 「魚菜八風」

和歌山南 RC 6月17日(金)→ 6月17日(金)

18:30～ダイワロイネット(最終夜間例会)

和歌山北 RC 6月20日(月)→ 6月20日(月)

18:30～ホテルグランヴィア和歌山 4F

(最終夜間例会)

粉河 RC 6月22日(水)→ 6月22日(水)

19:00～岩鶴屋(紀の川市)

ありがとう例会・米山記念奨学生送別会

和歌山東 RC 6月23日(木)→ 6月23日(木)

18:30～ダイワロイネット

和歌山東南 RC 6月29日(水)→ 6月29日(水)

18:30～ホテルアバローム紀の国

最終親睦夜間例会

○例会休会のお知らせ

和歌山東南 RC 6月 1日(水)

和歌山城南 RC 6月 16日(木)

有田 RC 6月 16日(木) 30日(木)

和歌山南 RC 6月 24日(金)

和歌山北 RC 6月 27日(月)

有田南 RC 6月 28日(火)

粉河 RC 6月 29日(水)

岩出 RC 6月 30日(木)

和歌山東 RC 6月 30日(木)

6. 会員卓話

社会奉仕委員長 奥 喜全 君

新旧合同「地区クラブ社会奉仕委員長会議の報告」

5月15日(日)JA和歌山ビルで新旧合同クラブ社会奉仕委員長会議を開きました。各クラブから、社会奉仕委員長をはじめ、地区委員や関係者が参加。ロータリーの社会奉仕活動について、情



四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか

Rotary



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

事務所 〒642-0002

海南市日方 1294(海南商工会議所 4F)

TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

http://www.kainaneast-rc.jp

E-mail : info@kainaneast-rc.jp

報・意見交換しました。第1部では、地区内のユニークな社会奉仕事業の事例紹介で ①海南東RCのフィリピン・セブ島で就業支援(3カ国のRC共同プロジェクト) ②和歌山RCの犬猫殺処分低減化支援事業 ③高師浜RCのふれあいウォークについて、それぞれ詳細な紹介がありました。

また、坂東 剛 地区地域社会奉仕委員から、推奨事業の理解に向けたレクチャーがあり、ロータリーが目指している地域社会奉仕について、ロータリーのビジョン声明、行動計画や7つの重点項目などの説明がありました。続いて、第2部では、グループワーク ケーススタディで、有田ロータリークラブの事例を基にグループに分かれアイデアや提案を出し合い、意見交換しました。

1. 地区内のユニークな社会奉仕事業の事例紹介
 - ①海南東 RC フィリピン セブ島で就業支援 3カ国のRC共同プロジェクト
 - ②和歌山 RC 犬猫殺処分低減化支援事業
 - ③高師浜 RC ふれあいウォーク
2. 地域社会奉仕委員会から推奨の事業の理解に向けたレクチャー
3. グループワーク ケーススタディ -有田ロータリークラブの事例-

- 和歌山 RC 犬猫殺処分低減化支援事業
 - ・和歌山市 人口10万人当たりの都道府県別 ワースト3位
 - ・和歌山市がCFを設立 (ふるさと納税)
 - 和歌山市動物愛護管理センター H31.10 設立
 - ・設備はあるが、去勢手術の費用等がない現状
 - 行政がおこしても継続できない事業への支援
 - ・具体的に殺処分ゼロを目指す 去勢手術の費用 ボランティアの費用 飼い主にとどくまでの支援
 - ・動物愛護活動といういままでにロータリークラブにはない視点

○高師浜 RC ふれあいウォーク
1988年に高石市民ウォークラリーとして開催したが、高石市主催の行事と勘違いされるため、高師浜 RC ふれあいウォークに名称変更し、現在まで33回開催。当時、高石市でも同じような行事(有料)があったが①市民の健康促進②市民のふれあいと交流③ロータリーの奉仕のPRを目的に、無料で気軽に参加してもらえないかを考え、試行錯誤しながら現在に至る。



事業成果
1988年から継続している事業のため、高石市の認知度も高く、現在ではSNSでも発信しており、ロータリー活動の広報としての役割がある。年1度の事業だが、特に独居老人の方が楽しみにしており、やりがいのある事業だとおもう。帰りにお土産として配布している花の苗で緑化活動にも貢献し、花を愛でる機会にもなる。

毎回、40万円強の費用を支出しており、この費用はニコニコ箱として徴収している会計よりねん出しているが、会員減少により個人の負担が大きくなってきているのが現状。会員の減少、高齢化に伴い、ご家族や知人が協力。また、お弁当、お花、イベント等の関係企業、団体には趣旨を説明し、価格等で協力してもらおう。持続性、皆さん楽しんでいただいている事業であり、今後とも問題点は改善しながら続けていきたい事業である。

○グループワーク ケーススタディ -有田ロータリークラブの事例-

有田 RC の井上会長は悩んでいます。有田 RC の地域拠点は和歌山県有田市であり、古くからみかん産業と蚊取り線香(除虫菊)で栄えた町です。山や海に囲まれた風光明媚な町並みは昭和の時代には観光名所として栄えたのですが、今ではホテルや宿も老朽化と後継者問題によりすさんでおり、中心街の箕島駅周辺の商店街も空き店舗の方が多く閑散としています。若い市長は活気を取り戻そうと色々策を講じています。(空き家への移住推進、無人島の活用など、地域外の若者を取り入れたプロジェクトも多い)。大きな問題は、東燃ゼネラル石油(現在のエネオス)による税収と雇用を生み出していた町であったが、2年後にはその工場が閉鎖されることが決まったことです。このままでは工場に関わる約500名の雇用が喪失されるのです。通常でも町は人口減少に悩んでいたところで若者の町への定着率も少ない中で、さらにまちの火が消えてしまう様な事態です。井上会長はまちの活気が少しでも明るく回復できる様、ロータリークラブとして何ができるのか?考えています。

そして、4つの大きな課題を見出しました。

- ・失業問題
- ・人口減少
- ・地域経済の低迷
- ・観光の疲弊

そして、それに取り組むため以下の事業を行いたいと考えました。

- ①町の雇用を促進する事業
- ②若者を増やすための事業(地元の若者定着 or 若者の移住)
- ③地域経済の循環に貢献できる事業
- ④観光資源のPR事業

そして、奉仕プロジェクトのリーダーに「今年、この4つの事業を奉仕プロジェクト委員会で考えて、一つだけ地区補助金を使って実行してほしい」と言いました。さて、あなたのテーブルは有田ロータリークラブの奉仕プロジェクトのメンバーです。話し合って事業を考えてください。

以下の項目を話し合ってください。

- 1) どの様な事業にしますか?
- 2) 会員に対する「やりがい」をどう作りますか?
- 3) スケジュールとタスク
- 4) 収支の計画
- 5) 関わる地域住民

6) 持続可能性について

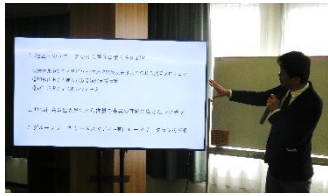
7) 効果的な広報の方法

キーワード : ロータリー地域社会共同

・有田の海、みかん畑を活かしたイベント
ウォークラリーでのイベント企画

・公民館の充実

リモートワークが進むのであれば、住みよい街に



すれば人口が増える。
年代を超えた関わり
室内講演 カウンターでコーヒーが飲める
ダンススタジオ

壁にロッククライミング → 小さなスペースにお金をかけずに

・みかんブランドを生かした商品開発

商品開発支援 コンテスト (ロータリー賞)

・SNS は必須という意見が多数 (20代~30代の女性がターゲット)

以上のような意見や提案がありました。

5月は「青少年奉仕月間」です

7. 閉会点鐘

【次回例会】

5月9日(月) 19:00~ 夜間例会

海南商工会議所 4F

お誕生日、結婚記念日のお祝い



自らも戦争の被害を受けているウクライナのロータリー会員たちは、避難先から戻ってきた市民を支援するために、海外からの支援物資の配布と長期的な救援活動に取り組んでいます。

2月下旬にロシア軍が侵攻して以来、ウクライナのロータリー会員は定期的にビデオ会議を開いて対策にあたってきました。ウクライナのロータリー雑誌『Rotariets』の編集者であるミコラ・スタビリャンコさん(ウクライナ・ロータリーEクラブ会員)によると、同国の会員の活動は、民間の負傷者が手当てを受けている病院に薬と電力を供給すること、避難している家族のシェルターを見つけること、次々と送られてくる支援物資を管理することを中心としています。

同国のロータリー第2232地区は、ロシア侵攻開

始時に避難した住民たちが戻りつつある都市での活動に焦点を当てています。

「戻ってきた市民らが目にするのは、破壊された町の姿」だとスタビリャンコさん。自身も、3月の『Rotary』誌とのインタビューで、夜中に空襲のサイレンで目が覚め、家族とともにオデーサの自宅のバスルームに避難したと語りました。そのオデーサにも、5月はじめにミサイル攻撃が行われたというニュースが入っています。

「都市によっては破壊の規模がすさまじく、言葉では言い表せません。再建には相当な労力が必要となるでしょう」とスタビリャンコさんは言います。

同地区では、数十個の発電機を入手・配布し、病院、ビジネス、家庭の電力回復を助けています。また、地区内のクラブは、欧州諸国から寄贈された数台の消防車の輸送を手配しました。スタビリャンコさんによると、火災や緊急時だけでなく、これらの消防車のはしごが電線の修理にも役立っています。

同地区に授与されたロータリー財団からの4件の災害救援補助金(1件につき5万ドル)は、ウクライナ全国の50件近い救援プロジェクトに活用されます。さらに、世界中のクラブから地区に寄せられた40万ドル以上の寄付は、医療物資、食糧、衣服、シェルターなどの緊急物資のために使われました。

ウクライナの都市リヴィウに住むボリス・ボドナーさん(ウクライナ・ユニティパスポート・ロータリークラブ会員)は、海外から送られてくる人道支援物資を管理し、これらを必要なところに届ける手配を行っています。ウクライナ東部から避難民がリヴィウに流れ込んでおり、国連によると、この戦争で1,200万人以上が避難を余儀なくされています。

ボドナーさんによると、寄付金の多くはウクライナと国境を接する国(主にポーランド)に送られ、これらの国に設置された支援拠点でクラブが物資の調達と発送を行っています。

「欧州以外の国から物資を送るのには複雑なので、まずは欧州にある拠点に寄付金を送ってもらい、そこで物資を購入して直ちにウクライナに発送する、という方法が効果的です」とボドナーさん。募金においては、ミュンヘン(ドイツ)の複数のクラブが率先して力になってくれていると言います。

共通の関心に基づいて育まれた絆もサポートにつながっています。セルゲイ・ザヴァイスキーさん(キーウシティ・ロータリークラブ会員)によると、会員間の関係、特にロータリー親睦活動グループで培われた関係を通じて、多くの支援物資が寄せられています。

ウクライナ西部のイバノフランコフスクに住むザヴァイスキーさんは、特にヨット愛好家ロータリアンの国際親睦活動グループ、飛行愛好家ロータリアンの親睦活動グループ、医療従事者の国際親睦活動グループを引き合いに出し、次のように語ります。「非常に多くのロータリーの友人たちが、世界中から毎日のように支援を寄せてくれます。温かい思い

が伝わってきて、心の支えとなっています」
 ウクライナの会員たちは、緊急物資の受け入れと配布にあたりながら、将来のことも計画しています。
 ボドナーさんはこう言います。「戦争が終わった後もずっと人道的な問題は続くでしょう。人道支援物資の受け入れと配布の態勢と経路を今から整えておくことで、将来にも役立つはずです」

ウクライナ危機へのロータリーの対応

ロータリーは、ウクライナでの戦争による人命の喪失および人道的危機の深刻化を深く懸念しています。私たちは地域に根づいたネットワークと数十年にわたる経験を生かし、現地で迅速に行動を起こしています。

ご寄付が活用されています

2022年3月3日から4月30日までにロータリー災害救援基金に寄せられたすべてのご寄付は、ウクライナ難民またはこの戦争の被災者支援が行われている地域への人道的救援活動に優先して活用されています。



世界中の方々からの温かいご支援のおかげで、ロータリーは1,500万ドル以上の寄付を募り、水や食糧、シェルター、医療物資、衣服といった必需品のために既にこの資金を活用しています。

現在までに、この戦争による被災者支援のために、123件の災害救援補助金（総額360万ドル）が授与されています。ロータリー財団は引き続き、この寄付をウクライナとその周辺地域での人道的救援活動に活用していきます。地区は2022年6月30日まで、この目的のために災害救援補助金を申請できます。

5月1日以降の災害救援基金へのご寄付は、復興援助を必要とする全世界の被災地で活用可能となります。

災害救援補助金の申請



ロータリー地区が災害救援基金から補助金を申請する方法をご覧ください。迅速な手続きが行われるこの補助金は、水、食料、シェルター、医療品、衣服といった救援物資を含め、この危機による難民や被災者の支援に利用できます。地区は、地

元自治体や地元団体と密に協力し、補助金が地域の具体的なニーズに充てられるようにすべきです。

クラブ・地区による救援活動の連絡先と支援方法

ウクライナと近隣地域では、多くのクラブと地区が人道支援活動を行っています。ロータリークラブや地区の協力を得る方法、難民の宿泊に関する連絡担当者、その他の各地での取り組みについてご覧ください。各地のプロジェクトを直接ご支援いただけます。

世界中で活躍する「世界を変える行動人」

【米国】

地元フェスティバルに熱意を捧げるコリアーヴイル・ロータリークラブ（テネシー州）は、特別支援が必要な何百人もの子どもとその家族のために、熱気球に乗ったり、食べ物やアクティビティを無料で楽しんだりできる一夜を催しました。

Bluff City Balloon Jamboreeの前夜にメンフィス郊外で開催されたこの私的な催し「特別な子どもたちのための特別な一夜」では、第6800地区

（テネシー州とミシシッピ州）の七つのクラブから80人の助っ人が集合。クラブは、このイベントのために3万ドルの寄付金を集めました。「特別支援が必要な子どもたちにとって、一生に一度の



体験になったでしょう」と話すのは、コリアーヴイル・ロータリークラブ会員であるデーブ・ライランダーさんです。「熱気球に乗ったことのある子どもは、一体何人いるのでしょうか？約300人の子どもが、その機会を得ることができました」。9月に行われる同様のイベントでは、クラブがテレビ番組で高校フットボールの様子を紹介する予定です。「今年は私たちオリジナルのフットボールドラマができます」とライランダーさんは話します。

ニコニコ・BOX

上中 嗣郎 君	80会ありがとうございますメイン幹事ががんばります。
寺下 卓 君	家族例会 ありがとうございます。
田岡 郁敏 君	鳥の糞
楠部 均 君	田岡さん、家族例会 SAA ありがとうございます。